

兵庫県のモンヤガ亜科

兵庫県産蛾類分布資料・16

高島 昭

兵庫県のヤガについてこれまでウスベリケンモン亜科からタバコガ亜科まで順次まとめたが、今回はモンヤガ亜科について報告する。掲載した記録は1999年12月31日現在で入手できた資料に基づいた。記載方法は前報に準じる。なお、本稿を草するにあたり山本義丸氏に数多くの御助言をいただいた。御礼申し上げる。

<モンヤガ亜科 NOCTUINAE>

モンヤガ亜科は北半球の内陸草原によく発達した一群でアフリカにも固有の属を産するという。東北アジアの種群はユーラシアとの共通属が多いという。

冷温帯性の種が多く、日本では69種が知られている。そのうち兵庫県からは31種が記録されている(1999年12月31日現在)が、そのうちクロヤガについては記録に疑問があり、本県に確実に分布していることが確認されるまで保留したい。したがって本稿では30種を県産モンヤガとして掲載する。

地域別に見ると、神戸市15種、阪神北摂22種、中東播南部9種、中東播北部20種、西播南部18種、西播北部20種、南但19種、北但11種、丹波18種、淡路北部8種、淡路南部19種であり、調査密度が高いと思われる地域は凡そ20種前後が確認されている(第1表参照)。

モンヤガ亜科の蛾は広範囲に普遍的に分布する種が多く、蒐集家にとっては面白味に欠ける種群であり、あまり積極的に採集されていない可能性がある。

種類数が少ない地域は今後の調査如何で20種前後の棲息が確認できると思われる。

一方、この仲間は冷温帯性の種群を多く含み、兵庫県のような暖地では、分布の南限域にあたり局地的な分布傾向を示す種もいくつかある。また、本来日本に土着していないが最近日本に侵入してきた種もある。ホソアオバヤガ、オオホソアオバヤガ、アカマエヤガ、ニセタマナヤガ、ウスアカヤガ、ミヤマアカヤガ、モンキヤガ、オオアオバヤガはその例であり、兵庫県では採集記録が少なく注目種である。

とくにホソバヤガ、オオホソバヤガは最近の記録がなく確認が必要である。また、キマエヤガ、ホシ

ボシヤガ、ナカグロヤガ、タンボヤガは兵庫県からは記録がないものの、近県で記録があったり分布域に入っている種で、今後の調査によって兵庫県から見つかる可能性がある。

1. *Euxoa sibirica* (Boisduval) (3484)

ウスグロヤガ

トビイロヤガとも呼ばれる。北海道から九州にかけて分布するが、温帯性の種であるため西南日本では少ない。低標高地で発生したものは夏期には山地へ移動して越夏することが知られている。県下では黒田庄町、波賀町、柏原町、南淡町で散発的に得られているが少ない。

[採集記録]

黒田庄町(喜多,15.X.1959,1ex.,岡本清²⁴)

波賀町(引原,25.VII.1988,1♂,高島昭³²)

柏原町(柏原,27.VI.1949,1♀,山本義丸⁵²)

南淡町(阿万上町,-.V.1958,-; -.IX.1958,-,藤平明¹:同,18.VII.1998,-,藤平明³)

2. *Agrotis ipsilon* (Hufnagel) (3488)

タマナヤガ

汎世界種として著名で、各種農作物の害虫としてしばしば問題となる。移動性があることで知られている。日本では北海道を除く全域で採集例がある。温暖地では3~11月にかけて出現する。県下では北但地域を除く各地で記録があり、耕作地周辺に普通である。北但地域は記録漏れによるものと思われる。普遍的に分布すると思われる。

[採集記録]

神戸市(摩耶山,-.-.-,田中蕃³⁹:同,-.-.-,岡村八郎⁴⁶)

宝塚市(武庫川町,31.VIII.1979,-,新家勝³³)

川西市(黒川,5.VII.1997,1♀,高島昭³⁷)

猪名川町(上阿古谷,25.VIII.1981,1♀; 21.VII.1982,1♂; 12.VIII.1982,1♂1♀; 20.VIII.1982,1♂,夏秋ほか⁹)

黒田庄町(喜多,15.XI.1960,1ex.,岡本清²⁴)

大河内町(砥峰高原,12.X.1999,1♂,高島昭:長曾,29.X.1999,1♂,高島昭)

波賀町(引原,29.VI.1974,1♂; 11.X.1975,1♂; 22.X.1975,1♀; 6.XII.1975,1♂1♀,遊磨正秀⁵⁴; 同,27.III.1988,1♀,高島昭³²; 坂の谷,12.VIII.1998,1♂,高島昭)

相生市(瓜生,24.V.1989,1♀,高島昭³³)

上郡町(船坂,4.X.1997,1♂,高島昭; 同,23.X.1997,2♂,高島昭)

三日月町(下本郷,-.VIII.1983,-,川副昭人⁶)

和田山町(久世田,20.XII.1998,1ex.,柴田剛)

氷上郡(-,-,-,-,-,山本義丸⁹)

津名町(大町畑,1.VII.1972,1♂; 6.VII.1972,1♀,登日邦明⁴¹)

三原町(八木養宜,21.IX.1991,-,藤富正昭⁴)

南淡町(阿万上町,19.IV.1974,-,藤平明²; 同,10.XII.1987,-; 22.IX.1994,-,藤平明³)

3. *Agrotis tokionis* Butler (3490)

オオカブラヤガ

東北地方から九州、対馬にかけて分布し、年1回10月頃に成虫が現れる。県下での記録は少なく、現在のところ宝塚市、黒田庄町、南淡町で知られているのみである。発生時期が遅いため調査が不十分なものと思われるが、局地的な分布をする種かもしれない。大阪府では箕面公園で記録がある(山本,1996)。

【採集記録】

宝塚市(南口2丁目,10.XI.1983,-,新家勝¹⁸)

黒田庄町(喜多,-.X.1958,1ex.; 17.X.1960,2exs.,岡本清²⁴)

南淡町(阿万上町,22.X.1958,-,藤平明¹)

4. *Agrotis segetum* (Denis & Schiffermüller)

(3493) カブラヤガ

屋久島以北の日本全域に分布し、アブラナ科野菜を始め各種作物の害虫として著名である。春と夏から秋にかけて出現し、耕作地周辺で多く見かける。

県下では各地にごく普通である。

【採集記録】

神戸市(六甲山,-.-.1933,-,堀江聡男⁴⁵; 摩耶山,-.-.-,田中蕃³⁹; 同,-.-.-,-,岡村八郎²⁶)

尼崎市(南塚口町,3.VI.1982,1♂,夏秋優¹¹)

西宮市(上霞原町,24.VII.1968,1♂,東正雄³¹)

宝塚市(武庫川町,31.VIII.1979,-,新家勝¹³; 翌天寺,2.XII.1986,1♀,東正雄³¹; 光明町,17.VIII.1988,-; 4.IX.1988,-,新家勝³¹)

川西市(黒川,10.VIII.1996,1♂; 12.X.1996,1♂; 3.V.

1997,1♂,高島昭³⁷)

猪名川町(上阿古谷,21.VII.1982,1♀,夏秋ほか⁸)

黒田庄町(喜多,1.IV.1959,1ex.; 15.IV.1959,1ex.; 27.IV.1959,1ex.; 15.VII.1959,1ex.; 19.IV.1960,1ex.; 27.IV.1960,1ex.; 6.V.1960,1ex.; 26.V.1960,1ex.; 18.VII.1960,1ex.,岡本清²⁴)

姫路市(書写台,15.XI.1988,1♂,高島昭; 広嶺山,-.-.1982,-,木村三郎⁷; 同,13.V.1982,1♀,相坂耕作; 太市,-.-.1991,-,丸谷ほか¹²; 同,6.V.1995,1♂,高島昭)

波賀町(引原,6.V.1974,1♂,遊磨正秀⁵⁴; 同,24.III.1988,1♂; 29.VII.1988,1♂,高島昭³²)

相生市(瓜生,29.V.1997,1♂,高島昭³⁸)

上郡町(行頭,25.IV.1996,1♂,高島昭³⁴)

三日月町(下本郷,-.IV.-,-; -.VI.-,-; -.VII.1983,-; -.IX.-,-,川副昭人⁶)

豊岡市(正法寺,15.XI.1998,1ex.,柴田剛)

水ノ山(-.-.-,-,遠山ほか²⁸)

氷上郡(-.-.-,-,山本義丸⁹)

津名町(大町畑,3.V.1972,1♂1♀; 5.V.1972,1♀,登日邦明⁴²)

洲本市(厚浜,3.III.1980,-,藤富正昭⁴; 宇山,19.VII.

1980,1ex.,林俊雅⁵; 三熊山,6.VI.1981,1ex.,西岡公明²²)

三原町(八木養宜,12.IV.1992,-,藤富正昭⁴)

南淡町(-.-.IV~V.-,-; -.IX~X.-,-,藤平明¹

: 阿万上町,25.IX.1958,-; 17.IV.1968,-; 17.III.1987,-,藤平明²; 同,25.IV.1995,-,藤平明³; 灘黒岩,29.VI.1997,-,藤平明³)

5. *Actebia praecox* (Linnaeus) (3496)

ホソアオバヤガ 注目種

前翅は幅狭く淡い灰緑色、環状紋は円形で核は紫赤色をしており、亜外縁部にも同色の帯を表す。北海道から九州に至る本土域に産する。年1回6~7月に現れ、9月まで見られる。盛夏には越夏休眠を行うとされる。県下では波賀町引原で得られた1例しか記録がなく、詳しい分布状況はわからない。

【採集記録】

波賀町(引原,29.VI.1974,1♂,遊磨正秀⁵⁴)

6. *Actebia praecurrens* (Staudinger) (3497)

オオホソアオバヤガ 注目種

前種と似るが、前翅はいっそう濃い灰緑色で、環・腎状紋も大きく斑紋は鮮明で、亜外縁部の紫赤色帯は幅広いことで区別できる。おそらく年1化で前

種と同様の周年経過をたどると思われる。県下での記録は少なく神戸市と黒田庄町で記録があるのみである。

【採集記録】

神戸市(有馬,21.VII.1960,-,森 博²⁷)

黒田庄町(喜多,29.IX.1959,lex.,岡本清²⁴)

7. *Ochropleura plecta* (Linnaeus) (3499)

マエジロヤガ

前翅は赤紫色ないし濃い紫褐色で変異が大きい。前縁部は灰黄色、後翅は黄白色で識別は容易である。

北海道から九州北部にかけて分布している。年2回の発生である。県下ではやや産地が限られているが、北摂地域では比較的記録地が多い。県下の低山地を中心に分布は広いと思われる。現在のところ北但、淡路地域からは記録がない。

【採集記録】

宝塚市(武庫川町,5.IX.1984,-,新家勝¹⁷)

川西市(黒川,18.V.1996,1♂,高島昭³⁷)

猪名川町(上阿古谷,1.IX.1982,3♂,夏秋ほか⁶)

黒田庄町(喜多,3.IV.1959,lex.; 15.IV.1959,lex.; 30.IV.1959,lex.; 14.VI.1960,lex.; 14.VII.1960,lex.; 12.IV.1961,lex.,岡本清²⁴)

三日月町(下本郷,-.VI.-,-,川副昭人⁶)

大屋町(横河溪谷,15.V.1999,1♀,高島昭)

氷上郡(-,-,-,-,山本義丸⁴⁹)

8. *Hermonassa cecilia* Butler (3504)

ククモヤガ

北海道から九州、対馬、屋久島に分布し、年1回の発生である。5~6月に羽化し越夏休眠した後、秋にも活動する。県下では、各地に普通に見られ個体数も多い。

【採集記録】

神戸市(摩耶山,-,-,-,-,田中蕃³⁹; 同,-,-,-,-,岡村八郎²⁶)

宝塚市(南口2丁目,15.X.1978,-,新家勝¹³; 武庫川町,4.VI.1988,-; 11.X.1988,-,新家勝²¹; 光明町,3.XI.1988,-,新家勝³¹; 西谷西部,28.V.1977,1♀,東正雄³¹)

川西市(黒川,12.X.1996,1♂,高島昭³⁷)

猪名川町(上阿古谷,10.VI.1983,1♀,夏秋ほか⁹)

黒田庄町(喜多,-.X.1958,lex.; 20.X.1959,lex.; 18.V.1960,lex.; 24.V.1960,lex.,岡本清²⁴)

姫路市(広嶺山,13.V.1982,1♂,坂坂耕作; 太市,-.-.1991,-,丸谷ほか¹²)

大河内町(砥峰高原,12.X.1999,1♂,高島昭)

安富町(大河溪谷,21.X.1998,1♂,高島昭; 同,29.V.

1999,1♂,高島昭)

波賀町(引原,4.VII.1973,1♂; 1.VI.1974,1♂; 8.VI.

1974,1♂,遊磨正秀⁵⁴; 同,7.VI.1988,4♀; 7.X.1988,

1♀,高島昭³²; 同,21.X.1997,1♀,高島昭; 坂の谷,27.V.1998,1♂,高島昭)

三室山(-.-.-,-,遠山ほか²⁸)

相生市(瓜生,24.V.1989,1♀; 17.VI.1989,1♀,高島昭³³)

上郡町(船坂,23.X.1997,2♂,高島昭; 行頭,2.VI.1995,1♂; 23.VI.1995,1♂,高島昭³⁴)

三日月町(下本郷,-.VI.-,-; -.X.-,-,川副昭人⁶)

豊岡市(山本,2.IV.1973,-,山根政之²⁹; 正法寺,9.XI.1998,lex.,柴田剛)

朝来町(須留ヶ峰,9.VI.1975,3♂,遊磨正秀⁵⁵)

氷ノ山(-.-.-,-,遠山ほか²⁸)

関宮町(氷ノ山,-.-.1954,-,山本義丸⁴⁷)

氷上郡(-.-.-,-,山本義丸⁴⁹)

南淡町(阿万上町,29.X.1958,-; 7.XI.1958,-,藤平明¹; 福良向谷,2.XI.1996,-,藤平明³; 灘黒岩,30.V.1997,-; 19.V.1998,-,藤平明³)

9. *Spaelotis nipona* (Felder & Rogenhofer)

(3506) アカマエヤガ 注目種

大図鑑では *S. valida* Walker とされていたが種名が変更になった(Honey, M., 1996)。前翅の斑紋にはやや変異がある。ミヤマアカマエヤガという和名もある。北海道から本州中部域までの分布で、近畿地方は西限域となる。年1回、6月頃に発生し、越夏休眠の後秋にも活動することが知られている。幼虫は多食性と思われ、チシマアザミ、アキタブキ、シロツメクサ、アレチノマツヨイグサ、ウラジロタデなどから幼虫が発見されている(小木, 1986)。県下では、黒田庄町と柏原町からの古い記録が残っているだけで、最近の状況はわからない。里山から低山地にかけて分布すると思われるが、おそらく内陸部の盆地に限られていると思われる。

【採集記録】

黒田庄町(喜多,9.VI.1960,lex.; 12.VI.1961,lex.,岡本清²⁴)

柏原町(柏原,18.VI.1949,1♀; 16.VIII.1953,1♂,山本義丸⁵²)

10. *Sineugraphe exusta* (Butler) (3513)

カバスジャガ

前翅の地色には変異が大きい。次種と極めてよく似ているが、外横線の形状(本種ではR₅付近でやや鈍角をなすほかはほぼ平坦で細かい波状とはならない)で区別できる。北海道から九州までの本土域と対馬に産し、6月頃から発生、秋まで見られるが年1回の発生と思われる。県下では、全域で得られているが、とくに但馬地域の山地帯には分布が広いようである。

【採集記録】

- 神戸市(摩耶山,-,-,-,-,田中蕃³⁹:同,-,-,-,-,岡村八郎²⁶)
 宝塚市(南口2丁目,30.VI.1979,-,新家勝¹³:西谷西部,9.VII.1988,1♂1♀;6.VIII.1988,1♀,東正雄³¹)
 妙見山(7.VII.1984,1♂4♀,夏秋ほか¹⁰)
 黒田庄町(喜多,1.VII.1960,1ex.,岡本清²⁴)
 波賀町(引原,4.VII.1973,1♂;5.VII.1973,1♀;22.VII.1974,3♂1♀,遊磨正秀⁵⁴:同,26.IX.1987,1♀;25.VII.1988,1♂;29.VII.1988,1♀;22.IX.1988,1♂,高島昭³²)
 三室山(-,-,-,-,遠山ほか²⁸)
 三日月町(下本郷,-.VII.1983,-,川副昭人⁶)
 豊岡市(山本,29.VII.1973,-,山根政之³⁰)
 温泉町(扇ノ山,-,-,-,-,遠山ほか²⁸)
 朝来町(須留ヶ峰,31.VII.1975,目,遊磨正秀⁵⁵)
 大屋町(田淵山,5.VIII.1975,目,遊磨正秀⁵⁶)
 水ノ山(-,-,-,-,遠山ほか²⁸)
 関宮町(水ノ山,-.1954,-,山本義丸⁴⁷)
 鉢伏山(-,-,-,-,遠山ほか²⁸)
 水上郡(-,-,-,-,山本義丸⁴⁹)
 北淡町(常陸寺山,31.VII.1967,-,登日邦明⁴¹)
 南淡町(阿万上町,5.VII.1961,-,藤平明¹)

11. *Sineugrapha bipartita* (Graeser) (3514)

ウスイロカバシヤガ

前種によく似ているが、外横線が全体を通じて細かい波状を示す点、R₅付近で角をなすことがない点で区別できる。また、前翅の地色が明るい灰黄色を示すものや暗色で細かい淡色鱗片を密布する型は本種の固有のものである。北海道から九州にかけて分布するが、前種や次種と比較すると最も冷温帯に偏っているという。県下では各地に分布しているが、全種よりも一般に少ない。

【採集記録】

- 神戸市(摩耶山,-,-,-,-,田中蕃³⁹:同,-,-,-,-,岡村八郎²⁶)

- 宝塚市(武庫川町,27.IX.1981,-,新家勝¹⁴)
 黒田庄町(喜多,11.VII.1960,2exs.,岡本清²⁴)
 姫路市(広嶺山,6.VII.1996,1♂,高島昭³⁵)
 波賀町(引原,5.VII.1973,1♂;27.IX.1974,1♀,遊磨正秀⁵⁴:同,29.VII.1988,3♂1♀;22.IX.1988,1♀;7.X.1988,1♀,高島昭³²:坂の谷,12.VIII.1998,1♂2♀,高島昭:同,19.VIII.1998,1♀,高島昭)
 三室山(-,-,-,-,遠山ほか²⁸)
 大屋町(横行溪谷,15.VII.1999,1♂,高島昭)
 水ノ山(-,-,-,-,山本義丸⁵¹:同,-,-,-,-,遠山ほか²⁸)
 水上郡(-,-,-,-,山本義丸⁴⁹)
 北淡町(常陸寺山,31.VII.1967,-,登日邦明⁴¹:同,7.VII.1972,3♂,登日邦明⁴¹)
 津名町(大町畑,1.VII.1972,2♂1♀,登日邦明⁴⁴)
 洲本市(中津川,2.VII.1972,1♂,登日邦明⁴²)

12. *Sineugrapha oceanica* (Kardakoff) (3515)

オオカバシヤガ

S. longipennis (Boursin) とされていたがより古い有効名が発見され、種名が変更になった(Kono-nenko et.al.1998)。

外横線は不明瞭な点列となりその外側の暗色帯との間隔は他種よりも広く暗色帯自身も広くなるのが特徴である。東北地方から九州、対馬にかけて分布し、本属中では最も南方系の種であるという。6月から出現し秋まで見られるが年1回の発生とされる。

県下では各地から記録されている。山地帯よりもむしろ平坦地に多い傾向である。

【採集記録】

- 神戸市(摩耶山,-,-,-,-,田中蕃³⁹)
 宝塚市(南口2丁目,15.VII.1981,-,新家勝¹⁴:同,4.VI.1989,-;11.VI.1989,-,新家勝²¹:2.VII.1988,2♂4♀,東正雄³¹)
 川西市(黒川,13.VII.1996,2♂;5.VII.1997,1♂,高島昭³⁷)
 猪名川町(上阿古谷,21.VII.1982,1♂;20.VIII.1982,3♀,夏秋ほか⁸)
 黒田庄町(喜多,11.VII.1960,2exs.,岡本清²⁴)
 姫路市(広嶺山,22.VI.1996,1♂1♀;6.VII.1996,1♂,高島昭³⁵:太市,28.VI.1995,1♂,高島昭)
 波賀町(引原,16.VII.1988,2♂;25.VII.1988,1♂,高島昭³²:坂の谷,17.VII.1998,1♂,高島昭:同,10.IX.1998,1♂,高島昭)
 相生市(瓜生,30.VI.1989,1♂;7.VII.1989,1♀,高島昭³³)

上郡町(行頭,2.VI.1995,1♂,高島昭³⁴)
 三日月町(下本郷,-.VI.1984,-,川副昭人⁶)
 朝来町(須留ヶ峰,9.VI.1975,1♂,遊磨正秀⁵⁵)
 大屋町(横行溪谷,6.VII.1999,1♂,高島昭:同,20.VIII.
 1999,1♂,高島昭)
 氷ノ山(-.-.-,山本義丸⁵¹)
 氷上郡(-.-.-,山本義丸⁴⁹)
 南淡町(阿万上町,5.VII.1961,-,藤平明³:福良向谷,6.
 VII.1996,-,藤平明³:賀集,28.VI.1995,-,藤平明³
 :灘黒岩,29.VI.1997,-,藤平明³)

13. *Peridroma saucia* (Hübner) (3519)

ニセタマナヤガ 注目種

ほぼ全世界に産する汎世界種で、外見はタマナヤガに似ている。日本では1975年に初めて和歌山県で発見され、その後西日本を中心に記録が見られることから移入種と思われる。早春から晩秋までほぼ周年発生する。県下では、宝塚市と猪名川町で1980年頃に発見され、その後しばらく記録がなかったが最近南淡町で記録されている。県内に定着しているかどうかは不明で、詳しい調査が必要である。

【採集記録】

宝塚市(南口2丁目,9.XI.1980,-,新家勝¹³:30.VI.
 1980,-,新家勝³¹)
 猪名川町(上阿古谷,12.VIII.1982,1♀,夏秋ほか⁸)
 南淡町(賀集,26.VII.1995,-,藤平明³:灘黒岩,29.VI.
 1997,-,藤平明³)

14. *Diarsia deparca* (Butler) (3520)

コウスチャヤガ

日本特産種で、北海道から九州にかけて分布するほか対馬、屋久島でも得られている。多化性と思われる。幼虫は多食性であることが知られている。県下では普通種で、東播地域を除く各地で記録されている。東播地域では記録漏れと思われる。

【採集記録】

神戸市(摩耶山,-.-.-,田中蕃³⁹)
 尼崎市(南塚口町,5.V.1983,1♂,夏秋優¹¹)
 宝塚市(南口2丁目,21.V.1989,-,新家勝²¹:武庫川
 町,1.VI.1984,-,新家勝¹⁷:同,11.X.1988,-,新家勝²¹)
 猪名川町(上阿古谷,21.VII.1982,2♀,夏秋ほか⁸)
 波賀町(引原,11.XI.1975,1♂;22.V.1976,1♀,遊磨正
 秀⁵⁴:同,26.V.1988,1♀;7.IX.1988,1♂,高島昭²²
 :同,21.X.1997,1♂,高島昭)
 相生市(瓜生,24.V.1989,1♀,高島昭³³)

上郡町(行頭,2.V.1995,1♂,高島昭³⁴)
 三日月町(下本郷,-.X.1984,-,川副昭人⁶)
 温泉町(扇ノ山,2.VI.1984,1♀,谷田昌也⁴⁰)
 朝来町(須留ヶ峰,9.VI.1975,1♂,遊磨正秀⁵⁵)
 大屋町(横行溪谷,15.V.1999,1♂,高島昭:同,8.X.1999,
 1♂,高島昭:氷ノ山,1.X.1999,1♂5♀,高島昭)
 氷ノ山(-.-.-,遠山ほか²⁸)
 関宮町(氷ノ山,-.-.1954,-,山本義丸⁴⁷)
 氷上郡(-.-.-,山本義丸⁴⁹)
 北淡町(常陸寺山,31.VII.1967,-,登日邦明⁴¹:同,19.
 VIII.1970,1♂,登日邦明⁴³:7.VII.1972,4♂3♀,登日
 邦明⁴¹)

洲本市(物部,28.IV.1981,1ex.,林俊雅⁵)

南淡町(-.-.IV~V.-,-;阿万,-.IX.-,-,藤平明¹:
 阿万上町,22.X.1958,-;14.IV.1961,-,藤平明²:同,
 6.V.1972,3♂1♀,登日邦明⁴²:同,6.V.1986,-,藤平
 明³:灘大川,6.V.1986,-;30.III.1994,-,藤平明:
 福良向谷,10.X.1996,-;21.X.1997,-,藤平明³:灘
 黒岩,4.V.1997,-;29.VI.1997,-;29.VI.1998,-;
 11.X.1998,-,藤平明³)

15. *Diarsia canescens* (Butler) (3522)

オオバコヤガ

前翅の色彩は変化が大きい。北海道から九州、対馬、屋久島に分布する普通種。年2回の発生であることが知られている。県下各地にごく普通に産する。

【採集記録】

神戸市(摩耶山,-.-.-,岡村八郎²⁶:観防山公園,
 -.X.1988,-,山口福男⁴⁶:有馬,12.X.1942,1♂,東正
 雄³¹)
 尼崎市(-,21.IX.1949,-,新家勝²⁰:南塚口町,10.V.
 1982,1♂;12.V.1982,1♂;23.V.1982,1♀,夏秋優¹¹)
 宝塚市(南口2丁目,21.V.1979,-,新家勝¹³:同,21.V.
 1989,-,新家勝²¹:武庫川町,6.V.1988,2exs.,新家
 勝²¹:西谷西部,14.V.1977,1♂;9.X.1987,1♀,東正
 雄³¹)
 川西市(黒川,18.V.1996,1♂1♀;12.X.1996,1♂;3.V.
 1997,1♂,高島昭³⁷)
 黒田庄町(喜多,2.V.1959,1ex.;4.V.1959,1ex.;9.V.
 1959,1ex.;28.IX.1959,1ex.;12.VII.1960,1ex.;3.X.
 1960,2exs.,岡本浩²⁴)
 姫路市(太市,-.-.1991,-,丸谷ほか¹²)
 大河内町(砥峰高原,12.X.1999,2♂,高島昭)
 安富町(大河溪谷,21.X.1998,1♂,高島昭:同,7.V.1999,
 1♂,高島昭)

波賀町(引原,18.V.1974,2♂; 27.IX.1974,1♂; 2.VI.1975,1♂; 11.XI.1975,2♂7♀; 22.XI.1975,1♂,遊磨正秀⁵⁴; 同,26.IX.1987,2exs.; 16.V.1988,1♂; 18.VI.1988,1♀; 1.X.1988,2♂; 7.X.1988,2♂1♀; 19.X.1988,1♂1♀,高島昭³²; 同,24.IV.1998,1♂,高島昭:坂の谷,28.IV.1998,1♂,高島昭:同,5.VI.1998,1♂,高島昭:同,坂の谷,17.VII.1998,1♂,高島昭:同,24.VII.1998,1♂,高島昭)
 相生市(瓜生,24.V.1989,1♀,高島昭³³)
 上郡町(船坂,4.X.1997,1♂,高島昭:同,23.X.1997,1♂,高島昭:行頭,15.V.1995,1♂; 26.V.1995,1♂,高島昭³⁴)
 豊岡市(幸町,28.X.1988,1♂,近藤伸一:正法寺,22.X.1998,1ex.,柴田剛)
 大屋町(横行溪谷,8.V.1999,1♂,高島昭:同,9.X.1999,1♂,高島昭:氷ノ山,1.X.1999,2♂,高島昭)
 関宮町(氷ノ山,-.-.1954,-,山本義丸⁴⁷)
 氷上郡(-.-.-.-,山本義丸⁴⁹)
 津名町(大町畑,3.V.1972,2♂; 5.V.1972,3♀,登日邦明⁴²)
 洲本市(中津川,4.V.1972,1♂,登日邦明⁴²)
 南淡町(阿万上町,29.IV.1959,-; 12.V.1972,-,藤平明¹:同,6.V.1972,4♂3♀,登日邦明⁴²:同,8.X.1994,-; 25.IV.1995,-,藤平明³:灘黒岩,11.X.1998,-,藤平明³)

16. *Diarsia albipennis* (Butler) (3523)

ウスアカヤガ 注目種

暖温帯性の種で、宮城県付近を北限とし、九州、屋久島まで分布する。産出はやや局地的で少ない種である。年2回の発生で、初夏と秋に出現する。県下では宝塚市猪倉峠での1採集例があるのみでその他の報告はない。低山地を中心にほかにも分布しているかもしれない。近隣では大阪府箕面市で記録がある(山本,1990)。

【採集記録】

宝塚市(猪倉峠,28.V.1977,1♂,東正雄³¹)

17. *Diarsia brunnea* (Denis & Schiffermüller)

(3524) ミヤマアカヤガ 注目種

ユーラシア種で、冷温帯性である。北海道から関東中部山地一帯に優勢で、西は岡山県、四国剣山まで分布している。年1回、7~8月に発生する。県下では氷ノ山周辺の山地帯と南淡町での記録があるが、本来山地性の種であること、採集時期が10月とかなり遅いことなど淡路南部での記録は確認が必

要と思われる。その他の分布状況は詳しくわかっていないが、播磨から但馬の山地には広く分布すると思われる。かつてシロテンヤガとして記録されたものは本種である。

【採集記録】

波賀町(坂の谷,31.VII.1998,1♂1♀,高島昭)
 大屋町(横行溪谷,23.VII.195,1♀,山本義丸⁵⁰)
 関宮町(氷ノ山,22.VII.1958,1♂,山本義丸)
 南淡町(阿万上町,22.X.1958,-,藤平明¹)

18. *Diarsia dewitzi* (Graeser) (3525)

モンキヤガ 注目種

温帯性の種で、北海道から九州、屋久島にかけて分布するが、西南日本ではかなりの高標高地に限られるという。年1回、7~8月に出現する。県下では氷ノ山で得られた1例が知られるだけで、局地的で少ない種と思われるが、西播磨から但馬にかけての山地帯では広く分布していると思われる。

【採集記録】

関宮町(氷ノ山,-.-.1955,3♂,山本義丸⁴⁸)

19. *Diarsia pacifica* Boursin (3527)

アカフヤガ

日本特産種で北海道から九州、屋久島にかけて分布する。次種によく似ているが、前縁部から腎状紋を覆う赤色影は本種の特徴である。そのほか、前縁端は丸味が少なく、外縁はほぼ垂直、亜外縁線は淡色で両側は暗色条で縁取られることなどで区別できる。年2回、春と初秋に発生する。食草はフキであることが知られている。県下では全域で記録があるものの、近縁の次種に比べてやや局地的で少ないようである。

【採集記録】

宝塚市(武庫川町,7.IX.1979,-,新家勝¹³)
 黒田庄町(喜多,19.IV.1960,2exs.; 13.IX.1960,1ex.; 21.VI.1962,1ex.,岡本清²⁴)
 波賀町(坂の谷,10.IX.1998,1♂,高島昭)
 三日月町(下本郷,-.X.1984,-,川副昭人⁶)
 温泉町(扇ノ山,2.VI.1984,1♂,谷田昌也⁴⁰)
 大屋町(横行溪谷,15.V.1999,2♂,高島昭:同,25.VI.1999,1♂,高島昭)
 関宮町(氷ノ山,-.-.1954,-,山本義丸⁴⁷)
 氷上郡(-.-.-.-,山本義丸⁴⁹)
 南淡町(阿万上町,30.IV.1960,-; -X.1960,-,藤平明¹:賀集,5.X.1994,-,藤平明³:灘黒岩,19.V.1998,-,藤平明³)

20. *Diarsia ruficauda* (Warren) (3528)

ウスイロアカフヤガ

一般に前種よりも暗い紫赤色を呈し、とくに翅頂付近で紫灰色を残すことが多い。その他、前種よりも翅頂端は丸味が強く、亜外縁線は不規則に屈曲し、その内方は翅表の暗赤色部に接する。外横線の後半部に暗色の二重の小点列を有することが多い。北海道から九州にかけて分布し、年2回、初夏と初秋の発生である。県下では各地に普通に見られる。

【採集記録】

神戸市(摩耶山,-.-.-,-,田中蕃³⁹:同,-.-.-,-,岡村八郎²⁶)
 宝塚市(南口2丁目,14.IV.1989,-,新家勝²¹:武庫川町,6.VII.1981,-,新家勝¹⁴:武田尾,8.VII.1991,1♂,東正雄³¹)
 川西市(黒川,13.VII.1996,1♂,高島昭³⁷)
 猪名川町(上阿古谷,1.IX.1982,1♀,夏秋ほか⁸)
 黒田庄町(喜多,21.IV.1959,1ex.; 9.IV.1960,1ex.; 1.VII.1960,1ex.,岡本清²⁴)
 姫路市(西庄,13.V.1982,1♂,相坂耕作:広嶺山,6.VII.1996,1♂1♀,高島昭³⁵)
 波賀町(引原,4.VII.1973,1♂; 5.VII.1973,1♂; 5.V.1974,1♂; 27.IX.1974,1♂,遊磨正秀⁵⁴:同,16.VII.1988,1♂; 7.IX.1988,1♂,高島昭³²:坂の谷,15.V.1998,1♂,高島昭:同,12.VI.1998,1♂,高島昭:同,17.VII.1998,1♂,高島昭)
 三室山(-.-.-,-,遠山ほか²⁸)
 相生市(瓜生,23.VI.1989,1♀,高島昭³³)
 上郡町(船坂,4.X.1997,1♂,高島昭:同,8.IV.1998,1♀,高島昭:行頭,2.V.1995,1♂,高島昭³⁴)
 三日月町(下本郷,-.IV.-,-;- .VII.1983,-;- .V.1984,-,川副昭人⁶)
 朝来町(須留ヶ峰,31.VII.1975,目,遊磨正秀⁵⁵)
 水ノ山(-.-.-,-,遠山ほか²⁸)
 氷上郡(-.-.-,-,山本義丸⁴⁹)
 北淡町(常陸寺山,5.VIII.1972,1♂,登日邦明⁴⁴)
 南淡町(阿万上町,6.V.1972,1♀,登日邦明⁴²:同,18.VI.1973,-,藤平明¹:同,22.IV.1985,-,藤平明²)

21. *Xestia c-nigrum* (Linnaeus) (3535)

シロモンヤガ

北海道から九州に至る本土域と対馬に産する。年2~3回の発生であることが知られている。幼虫は多食性で、農作物に被害を及ぼすこともある。県下では、東播地域を除く各地に普通に見られ、耕作地周辺に多いが山地にも見られる。東播地域にも普通

に産すると思われる。

【採集記録】

神戸市(摩耶山,-.-.-,-,田中蕃³⁹:同,-.-.-,-,岡村八郎²⁶)
 西宮市(中浜町,20.V.1976,1♀,東正雄³¹)
 宝塚市(南口2丁目,18.V.1988,2exs.,新家勝²¹:武庫川町,22.V.1979,-,新家勝¹³:同,6.VI.1985,-,新家勝¹⁹:西谷西部,14.V.1977,1♀; 24.IX.1977,1♂,東正雄³¹)
 川西市(黒川,7.IX.1996,1♀; 20.IX.1997,1♂,高島昭³⁷)
 猪名川町(上阿古谷,20.VIII.1982,1♂; 1.IX.1982,1♂,夏秋ほか⁸)
 波賀町(引原,18.V.1974,1♀; 8.VI.1974,2♀; 2.VI.1975,1♀; 22.V.1976,2♂,遊磨正秀⁵⁴:同,26.V.1988,1♀; 7.VI.1988,1♀; 26.VI.1988,1♀; 17.IX.1988,1♂,高島昭³²:坂の谷,15.V.1998,1♀,高島昭:同,12.VIII.1998,1♂,高島昭)
 上郡町(船坂,4.X.1997,1♀,高島昭)
 三日月町(下本郷,-.VI.-,-,川副昭人⁶)
 朝来町(須留ヶ峰,9.VI.1975,1♂,遊磨正秀⁵⁵)
 大屋町(横河溪谷,28.V.1999,1♂,高島昭:同,4.VI.1999,1♂,高島昭:同,25.VI.1999,1♂,高島昭)
 水ノ山(-.-.-,-,遠山ほか²⁸)
 関宮町(水ノ山,-.-.1954,-,山本義丸⁴⁷)
 氷上郡(-.-.-,-,山本義丸⁴⁹)
 南淡町(阿万上町,3.V.1973,-; 5.VI.1973,-,藤平明¹:同,16.X.1984,-,藤平明³:灘黒岩,30.V.1997,-; 19.V.1998,-,藤平明³)

22. *Xestia fuscostigma* (Bremer) (3537)

クロフトビロヤガ

斑紋はややタンポヤガに似るが、前翅翅型は短く幅広く、暗い紫褐色を呈する。北海道から本州に分布する。西限は岡山県といわれていたが、近年、広島や山口でも記録されている。年1回の発生で8月に出現し、秋まで見られる。幼虫は雑食性であるという(小木,1990)。県下での記録は少なく、川西市、大河内町、上郡町、波賀町で記録されているだけであるが、詳しく調査すれば産地はもっと確認できると思う。

【採集記録】

川西市(黒川,20.IX.1997,1♂,高島昭³⁷)
 大河内町(砥峰高原,12.X.1999,1♂,高島昭)
 波賀町(引原,27.IX.1974,1♂,遊磨正秀⁵⁴:同,1.X.1988,1♀,高島昭³²:坂の谷,10.IX.1998,1♂,高島

昭)

上郡町(船坂,23.X.1997,1♂,高島昭³⁶⁾)23. *Xestia kollari* (Lederer) (3538)

ハコベヤガ

前翅の中央部は赤褐色を帯び、環状紋及び腎状紋も赤紫色を呈する。外横線付近は紫白色を呈する。

北海道から九州、対馬にかけて分布し、年1回の発生で8~10月に見られる。県下では広く分布するものの少なく、神戸市、能勢妙見山、波賀町、豊岡市、青垣町から報告されているだけである。東播地域でも発見されると思われる。

[採集記録]

神戸市(摩耶山,-,-,-,-,田中蕃³⁹⁾:同,-,-,-,-,岡村八郎²⁶⁾)妙見山(26.VIII.1983,1♀; 29.VIII.1983,1♀,夏秋ほか¹⁰⁾)

波賀町(引原,11.IX.1979,1♂,相坂耕作:同,26.IX.

1987,1ex.; 1.X.1988,1♀,高島昭³²⁾)豊岡市(山本,26.V.1973,-,-,山根政之³⁰⁾)青垣町(神楽,-,-,-,-,山本義丸⁵²⁾)24. *Xestia stupenda* (Butler) (3539)

マエキヤガ

前翅前縁は幅広く黄白色を呈する。北海道から九州、対馬にかけて分布するが、本属のなかではやや暖温帯性の種で、西南日本でも普通に見られる。年1回秋に出現する。県下では、南部の平地から里山にかけて普通に見られる。

[採集記録]

神戸市(有馬,21.IX.1960,-,-,森博²⁷⁾:同,28.IX.1992,1♂,東正雄³¹⁾)宝塚市(南口2丁目,28.X.1983,-,-,新家勝¹⁶⁾:西谷西部,24.IX.1977,1♂; 13.X.1979,1♂; 19.IX.1987,3♂; 17.IX.1988,1♂; 17.IX.1989,2♂,東正雄³¹⁾)川西市(黒川,20.IX.1997,1♂,高島昭³⁷⁾)猪名川町(上阿古谷,21.VII.1982,1♂; 20.VIII.1982,1♂,夏秋ほか⁸⁾)高砂市(-,-,30.X.1964,1ex.,岡本清²³⁾)黒田庄町(喜多,25.IX.1959,1ex.; 1.X.1959,1ex.; 4.X.1962,1ex.,岡本清²⁴⁾)

上郡町(船坂,4.X.1997,1♀,高島昭)

三日月町(下本郷,-,-,IX,-,-;-IX.1984,-,-,川副昭人⁶⁾)南淡町(阿万上町,24.IX.1958,-,-,藤平明¹⁾:同,4.X.1985,-,-,藤平明²⁾:同,9.X.1990,-,-,藤平明³⁾)25. *Xestia dilatata* (Butler) (3540)

ウスチャヤガ

胸背の冠毛は背中後で稜を形成する。前翅は暗い紫灰色でやや赤褐色を混ずる。東北地方以南の本土域と対馬に分布し、年1回、秋に出現する。県下では前種と同様南部の平地に見られるが、やや前種に比べると少ないようである。

[採集記録]

神戸市(諏訪山公園,-,-,X.1990,-,-,山口福男⁴⁶⁾)尼崎市(南塚口町,31.X.1987,1♀,夏秋優¹¹⁾)西宮市(仁川,21.X.1969,1♂,遊磨正秀⁵³⁾:生瀬,20.X.1971,1♂,遊磨正秀⁵³⁾)宝塚市(宝梅1,28.X.1988,1♂,東正雄³¹⁾:西谷西部,28.X.1979,1♂,東正雄³¹⁾)川西市(黒川,11.X.1997,1♂,近藤伸一³⁷⁾)高砂市(-,-,20.X.1964,1ex.,岡本清²³⁾)黒田庄町(喜多,-,-,X.1958,1ex.; 5.X.1959,1ex.; 17.X.1960,1ex.,岡本清²⁴⁾)姫路市(太市,-,-,1991,-,-,丸谷ほか¹²⁾)三日月町(下本郷,-,-,IX,-,-;-IX.1984,-,-;-X.1984,-,-,川副昭人⁶⁾)南淡町(阿万上町,11.XI.1961,-,-,藤平明¹⁾:同,20.XI.1991,-,-,藤平明³⁾)26. *Xestia efflorescens* (Butler) (3542)

キシタミドリヤガ

北海道から九州、対馬にかけて分布し、産出はほぼ普遍的である。年1回、7~9月に出現する。県下では、淡路地域を除く各地に普通である。おそらく淡路でも発見されると思われる。

[採集記録]

神戸市(摩耶山,-,-,-,-,田中蕃³⁹⁾:同,-,-,-,-,岡村八郎²⁶⁾)宝塚市(武庫川町,20.IX.1981,-,-,新家勝¹⁴⁾:西谷西部,8.X.1988,1♂,東正雄³¹⁾)川西市(黒川,13.VII.1996,1♂; 12.X.1996,1♂,高島昭³⁷⁾)猪名川町(上阿古谷,21.VII.1982,7♂4♀; 20.VIII.1982,1♀,夏秋ほか⁸⁾)黒田庄町(喜多,13.VII.1960,1ex.,岡本清²⁴⁾)波賀町(引原,5.VII.1973,1♂; 18.VII.1973,1♂; 27.IX.1974,1♀,遊磨正秀⁵⁴⁾:同,-,-,VIII.1984,1♀,相坂耕作:同,12.VIII.1987,1♂; 10.IX.1987,1ex.,高島昭³²⁾:同,21.X.1997,1♂,高島昭:坂の谷,3.VII.1998,

1♂,高島昭:同,24.VII.1998,1♂,高島昭)

三室山(-,-,-,-,遠山ほか²⁸⁾)

相生市(瓜生,7.VII.1989,1♂,高島昭³³)
 上郡町(船坂,4.X.1997,1♂,高島昭)
 竹野町(森本,20.IX.1998,1ex.,柴田剛:同,23.IX.1998,
 1ex.,柴田剛)
 温泉町(扇ノ山,-,-,-,遠山ほか²⁸)
 朝来町(須留ヶ峰,31.VII.1975,目,遊磨正秀⁵⁵)
 大屋町(田淵山,5.VIII.1975,目,遊磨正秀⁵⁶:横行溪谷,
 23.VII.1999,1♂,高島昭)
 氷ノ山(-,-,-,遠山ほか²⁸)
 関宮町(氷ノ山,-,-.1954,-,山本義丸⁴⁷)
 氷上郡(-,-,-,-,山本義丸⁴⁹)
 南淡町(灘黒岩,29.VI.1997,-;18.VII.1998,-,藤平明³)

27. *Xestia semiherbida* (Walker) (3543)

ハイイロキシタヤガ

北海道から九州にかけてと対馬に産する。前種同様産出は普遍的である。年1回7~8月に出現する。県下では淡路地域を除く各地で記録されているが、前種に比べるとやや少ないようである。

【採集記録】

宝塚市(南口2丁目,28.V.1982,-,新家勝¹⁵:西谷西部,23.IX.1978,1♂;16.VI.1990,1♀;8.VI.1991,1♀,東正雄³¹)
 川西市(黒川,20.IX.1997,1♂,高島昭³⁷)
 猪名川町(上阿古谷,10.VI.1983,2♀;17.VI.1983,2♀,夏秋ほか⁹)
 三田市(香下,14.IX.1989,-,東正雄³¹)
 黒田庄町(喜多,12.VI.1961,1ex.,岡本清²⁴)
 波賀町(引原,8.VI.1974,3♂;22.VI.1974,1♂;2.VI.1975,1♂,遊磨正秀⁵⁴:同,26.V.1988,1ex.;2.VII.1988,1♀;17.IX.1988,1♀,高島昭³²:坂の谷,19.VIII.1998,1♂,高島昭)
 三日月町(下本郷,-.VI.-,-;-IX.-,-;-VI.1984,-;-IX.1984,-,川副昭人⁶)
 豊岡市(山本,14.VI.1973,-;20.VI.1973,-,山根政之²⁹)
 和田山町(久世田,22.IX.1998,1ex.,柴田剛)
 氷上郡(-,-,-,-,山本義丸⁴⁹)
 南淡町(灘黒岩,19.V.1998,-,藤平明³)

28. *Naenia contaminata* (Walker) (3544)

クログキシヤガ

北海道から九州にかけてと対馬に産する。年1回の発生で、成虫は5月に得られる。県下では全域で得られているが、個体数は少ないようである。

【採集記録】

西宮市(仁川,26.VI.1969,1♀,遊磨正秀⁵³)
 川西市(黒川,7.VI.1997,1♂,高島昭³⁷)
 猪名川町(上阿古谷,11.VII.1983,1♀,夏秋ほか⁹)
 高砂市(-,30.V.1968,1ex.,岡本清²³)
 西脇市(-,8.VII.1960,1ex.,岡本清²⁵)
 黒田庄町(喜多,26.V.1960,1ex.;2.VI.1960,1ex.;9.VI.1960,1ex.;14.VI.1960,1ex.,岡本清²⁴)
 相生市(瓜生,1.VI.1989,1♂;17.VI.1989,1♂,高島昭³³)
 出石町(-,1.VIII.1975,-,大林誠³⁰)
 氷ノ山(-,-,-,-,遠山ほか²⁸)
 氷上郡(-,-,-,-,山本義丸⁴⁹)
 津名町(大町畑,5.IV.1972,1♂,登日邦明⁴²)
 南淡町(阿万上町,3.VI.1961,-;-IX~X.-,-,藤平明¹:同,-.X.1959,-,藤平明³)

29. *Anaplectoides virens* (Butler) (3547)

オオアオバヤガ

北海道から九州にかけて分布し、年1回の発生である。成虫は7~8月に見られる。幼生期はわかっていない。県下での産出は現在のところ氷ノ山周辺の山地に限られている。調査すればもっと産地は見つかると思われる。

【採集記録】

波賀町(引原,27.IX.1974,-,遊磨正秀⁵⁴:同,11.VIII.1987,2♂;25.VIII.1987,1ex.,高島昭³²:坂の谷,10.VII.1998,1♂,高島昭:同,31.VII.1998,1♀,高島昭)
 大屋町(横行溪谷,8.VIII.1999,1♂,高島昭)
 氷ノ山(29.VII.1973,-,山根政之³⁰)
 関宮町(氷ノ山,-.VII.1954,-;-VIII.1954,-,山本義丸⁴⁷)

30. *Cerastis pallescens* (Butler) (3548)

カギモンヤガ

前翅中央部に黒色斑をもち、これがこの種の和名の由来ともなっているが、まれにこの黒色部を欠く個体もいる。北海道から九州に至る本土域と対馬に普通に産する。年1回、早春に発生する。県下では西播地域の低山地帯以外は局地的で、東播地域、丹波地域、淡路地域からは記録がないが、早春の調査が不十分なため、平地から山地にかけて広く分布すると思われる。

【採集記録】

神戸市(摩耶山,-,-,-,-,田中蕃³⁹:同,-,-,-,-,岡村八郎²⁶)

表1 モンヤガ亜科(ヤガ科)各種の兵庫県下における地域別記録状況

31. XII. 1999現在	神戸	阪神北摂	中東播南部	中東播北部	西播南部	西播北部	南但	北但	丹波	淡路北部	淡路南部	記録地数	特記事項
1. ウスグロヤガ				○		○			○		○	4	
2. タマナヤガ	○	○		○	○	○	○		○	○	○	17	
3. オオカブラヤガ		○		○							○	3	
4. カブラヤガ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	27	
5. ホソアオバヤガ						○						1	注目種
6. オオホソアオバヤガ	○			○								2	注目種
7. マエジロヤガ		○		○	○		○		○			7	
8. クロクモヤガ	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	27	
9. アカマエヤガ				○					○			2	注目種
10. カバスジャガ	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	17	
11. ウスイロカバスジャガ	○	○	○	○		○	○		○	○	○	13	
12. オオカバスジャガ	○	○	○	○	○	○	○		○		○	20	
13. ニセタマナヤガ		○									○	4	注目種
14. コウスチャヤガ	○	○			○	○	○	○	○	○	○	20	
15. オオバコヤガ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	26	
16. ウスアカヤガ		○										1	注目種
17. ミヤマアカヤガ						○	○				○	4	注目種 山地性
18. モンキヤガ							○					1	注目種 山地性
19. アカフヤガ		○		○	○	○	○	○	○		○	11	
20. ウスイロアカフヤガ	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	21	
21. シロモンヤガ	○	○			○	○	○		○		○	17	
22. クロフトビロヤガ		○		○	○	○						5	
23. ハコベヤガ	○	○				○		○	○			5	
24. マエキヤガ	○	○	○	○	○						○	10	
25. ウスチャヤガ		○	○	○	○						○	11	
26. キシタミドリヤガ	○	○		○	○	○	○	○	○		○	19	
27. ハイイロキシタヤガ		○		○	○	○	○	○	○			13	
28. クロギシギシヤガ		○	○	○	○		○	○	○	○	○	12	
29. オオアオバヤガ						○	○					4	注目種 山地性
30. カギモンヤガ	○				○	○	○	○				8	
計	15	22	9	20	18	20	19	11	18	8	19		

波賀町(引原,7.IV.1975,3♂; 2.IV.1976,1♂,遊磨正秀⁶⁴:坂の谷,17.IV.1998,1♂,高島昭)
 相生市(瓜生,9.IV.1997,2♂,高島昭⁶⁵)
 三日月町(下本郷,-IV.-,-,川副昭人⁶⁶)
 上月町(西新宿,29.III.1997,1♂,高島昭)
 豊岡市(山本,30.III.1973,-,山根政之³⁰)
 大屋町(横濱溪谷,17.IV.1999,1♂,高島昭)

<今後記録される可能性がある種>

1. *Albocosta triangularis* (Moore) (3498)

コキマエヤガ

北海道から九州にかけて分布する。幼虫はアキタブキ、アマドコロから発見されている(小木,1987)。
 県下ではこれまで記録がない。

2. *Hermonassa arenosa* (Butler) (3503)

ホシボシヤガ

北海道から九州に至る本土域と対馬に産するとあるが、兵庫県からは未記録である。近畿周辺からの記録も筆者は知らない。幼虫はチシマアザミ、アキタブキ、オオイタドリなど多種の植物を食べるという(小木,1986)。

3. *Xestia undosa* (Leech) (3505)

ナカグロヤガ

日本特産種で、北海道から本州中部にかけて分布するほか、四国の剣山からも得られている。兵庫県からは記録がないが、山地帯では分布しているかもしれない。コナカグサを食べることが知られている(小木,1986)。

4. *Xestia ditrapezium* (Denis & Schiffermüller)

(3536) タンボヤガ

北海道から本州中部にかけて産する。岡山県にも分布するとされているが詳細は不明である。四国や九州の記録は疑問視されている。県下からは今のところ記録はない。内陸草原を好むので、県下では分布していても局地的と思われるが、西播から但馬にかけての山地帯では生息している可能性がある。かつて氷上郡⁶⁷から記録されたが、誤同定の可能性が高いとの理由で削除⁶²された経緯がある。

<記録から除外した種>

1. *Euxoa nigrata* Matsumura (3487)

クロヤガ

日本特産種とされ、北海道や東北部、中部地方の高原地帯に産することが知られている。夏に出現し、昼間も吸蜜に訪れるという。県下では波賀町で1例記録されているが、これまでの知見からすると、本県に分布しているかどうかは疑わしく、再確認されるまで県産種としての取扱いは保留する。

[参考記録]

波賀町(引原,22.VIII.1975,1♀,遊磨正秀⁶⁴)

<引用文献>

- 1) 藤平 明(1974) 南淡の蛾(II) *Parnassius* (12), p.5-13.
- 2) 藤平 明(1987) 南淡の蛾(自刊)
- 3) 藤平 明(1999) 淡路島南部の蛾, pp.96.
- 4) 藤富正昭(1994) 私版 淡路の昆虫リスト *Parnassius* (41), p.1-4.
- 5) 林 俊雅(1983) 淡路島産蛾類採集記録(I) *Parnassius* (28), p.13-16.
- 6) 川副昭人(1987) 佐用郡三日月町の蛾覚え書 てんとうむし10, p.1-10.
- 7) 木村三郎(1984) 広峰・増位山系の昆虫 てんとうむし9, p.53-58.
- 8) 夏秋優・佐々木昇(1982) 能勢地方の蛾(I) 上阿古谷の蛾・夏の蛾 *Crude* (23), p.1-37.
- 9) 夏秋優・佐々木昇(1983) 能勢地方の蛾(II) 上阿古谷の蛾・夏の蛾(続報) *Crude* (24), p.1-12.
- 10) 夏秋優・佐々木昇(1984) 能勢地方の蛾(III) 妙見山・夏の蛾(I) *Crude* (25), p.15-22.
- 11) 夏秋 優(1997) 兵庫県尼崎市塚口の蛾 *Crude* (41), p.20-25.
- 12) 日本野鳥の会(1992) 姫路市自然観察の森 林内基礎調査報告書4-6昆虫類, p.119-151.
- 13) 新家 勝(1981) 宝塚大橋の照明灯で採集した蛾(その2) きべりはむし9(2), p.17-20.
- 14) 新家 勝(1982) 宝塚大橋の照明灯で採集した蛾(続報その1) きべりはむし10(2), p.10-16.
- 15) 新家 勝(1983) 宝塚大橋の照明灯で採集した蛾(続報その2) きべりはむし11(1), p.6-10.
- 16) 新家 勝(1984) 宝塚大橋の照明灯で採集した蛾(続報その3) きべりはむし12(2), p.53-55.
- 17) 新家 勝(1985) 宝塚大橋の照明灯で採集した蛾(続報その4) きべりはむし13(2), p.36-40.
- 18) 新家 勝(1986) 宝塚大橋の照明灯で採集した蛾(続報その5) きべりはむし14(1), p.21-22.
- 19) 新家 勝(1986) 宝塚大橋の照明灯で採集し

- た蛾(統報その6) きべりはむし14(2),p.30-33.
- 20) 新家 勝(1989) 宝塚大橋の照明灯で採集した蛾(統報その9) きべりはむし17(2),p.31-35.
- 21) 新家 勝(1993) 宝塚大橋の照明灯で採集した蛾(その10) きべりはむし21(2),p.53-64.
- 22) 西岡公明(1983) 三熊山蛾類採集記録Ⅰ
Parnassius(27),p.7-9.
- 23) 岡本 清(1997) 高砂の蛾 てんとうむし11,
p.40-45.
- 24) 岡本 清(1998) 黒田庄町で採集した蛾(1)
てんとうむし12,p.30-38.
- 25) 岡本 清(1999) 兵庫県で採集した蛾
てんとうむし13,p.50-58.
- 26) 岡村八郎(1987) 神戸市摩耶山の蛾類採集目
録 てんとうむし10,p.37-45.
- 27) 岡村八郎・森 博(1987) 有馬の蛾より
てんとうむし10,p.66-67.
- 28) 奥谷禎一(1974) 中国山脈東端の昆虫相
東中国山地自然環境調査報告,p.173-191.
- 29) 高橋 匡(1975) 豊岡高等学校昆虫標本目録
(第1・2報),p.48-54.
- 30) 高橋 匡(1975) 豊岡高等学校昆虫標本目録
(第3報),p.9-14.
- 31) 宝塚市教育委員会(1993) 宝塚の昆虫Ⅴ 蛾類
(Ⅱ)
- 32) 高島 昭(1995) 波賀町引原ダム周辺におけ
る蛾相第1報 きべりはむし23(1),6-16.
- 33) 高島 昭(1996) 相生市三濃山麓の蛾(1)
きべりはむし24(1),p.27-29.
- 34) 高島 昭(1997) 上郡町で採集した蛾(1)
きべりはむし25(1),p.31-38.
- 35) 高島 昭(1997) 姫路市広嶺山の蛾(1)
てんとうむし11,p.65-69.
- 36) 高島 昭(1998) 西播地方で採集した注目す
べき蛾 てんとうむし12,p.68.
- 37) 高島 昭(1998) 黒川の蛾 きべりはむし26
(1),p.23-38.
- 38) 高島 昭(1998) 相生市三濃山麓の蛾(2)
きべりはむし26(2),p.59-64.
- 39) 田中 蕃(1967) 神戸市摩耶山に産する大蛾
類 佳香蝶19(71),p.89-104.
- 40) 谷田昌也(1986) 扇ノ山の蛾類分布資料(1)
IRATSUME(10),p.30-37.
- 41) 登日邦明(1967) 伊勢の森の蛾類 Parnassius
(4),p.4-9.
- 42) 登日邦明(1973) 淡路島産蛾類分布資料(Ⅰ)
蛾類通信73,p.215-224.
- 43) 登日邦明(1973) 淡路島若干の蛾の記録
Parnassius(9),9-16.
- 44) 登日邦明(1974) 淡路島産蛾類分布資料(Ⅱ)
蛾類通信76,p.261-266.
- 45) 戸沢信義(1935) 六甲山産蛾類目録 関西昆
虫雑誌2(3),p.30-31.
- 46) 山口福男(1999) 飯肪山公園で採集した蛾
きべりはむし27(2),p.37-41.
- 47) 山本義丸(1955) 水ノ山の蛾について(第一
報) 兵庫生物3(1/2),p.3-6.
- 48) 山本義丸(1956) 水ノ山の蛾について(第二
報) 兵庫生物3(3),p.121-123.
- 49) 山本義丸(1958) 兵庫県水上郡昆虫目録
水上の自然第3集 Natura特別号,p.12-50.
- 50) 山本義丸(1958) 水ノ山の蛾について(第三
報) 兵庫生物3(4),p.237-239.
- 51) 山本義丸(1989) 水ノ山の蛾類について(後
報) 兵庫生物9(5),p.295-297.
- 52) 山本義丸(1996) 兵庫県水上郡地方の蛾類(1)
きべりはむし24(2),p.1-13.
- 53) 遊磨正秀(1973) 六甲山地域の蛾類Ⅰ
きべりはむし2(1),p.1-9.
- 54) 遊磨正秀(1973) 引原ダム(六栗郡波賀町)の
ヤガ類(Ⅰ) きべりはむし2(1),p.16-19.
- 55) 遊磨正秀(1980) 朝来郡朝来町須留ヶ峰の蛾
類について(Ⅰ) きべりはむし8(3),p.1-8.
- 56) 遊磨正秀(1981) 養父郡大屋町田淵山の蛾類
について(Ⅰ) きべりはむし9(1),p.3-6.